

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	機関英語 I
科目基礎情報					
科目番号	0039		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	商船学科		対象学年	2	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	英語教習読本（機関科）日本船舶職員養成協会、英文機関日誌記載要領 成山堂書店				
担当教員	山谷 尚弘				
到達目標					
・ 簡単な英語で書かれた短い文章を理解できる。 ・ 英語で簡単な作業指示が出来、簡単な質問の内容を理解できる。 ・ 機関日誌の英文での記載要領を理解し、簡単な英文を書ける。 ・ 英語で記載された機器の名称や役割を直読直解できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1 簡単な英語で書かれた短い文章を理解できる。	簡単な英語で書かれた短い文章を正確に理解できる。		簡単な英語で書かれた短い文章を理解できる。		簡単な英語で書かれた短い文章を理解できない。
評価項目2 英語で簡単な作業指示が出来、簡単な質問の内容を理解できる。	英語での指示や質問の内容を正確に理解できる。		英語での指示や質問の内容を理解できる。		英語での指示や質問の内容を正しく、または全く理解できない。
評価項目3 機関日誌の英文での記載要領を理解し、簡単な英文を書ける。	機関日誌の記載要領を十分に理解し、それを用いて簡単な英文を正確に書ける。		機関日誌の記載要領を理解し、それを用いて簡単な英文が書ける。		機関日誌の記載要領を理解できず、それを用いて簡単な英文も書けない。
評価項目4 英語で記載された機器の名称や役割を直読直解できる。	英語で記載された機器の名称や役割を正確に直読直解できる。		英語で記載された機器の名称や役割を直読直解できる。		英語で記載された機器の名称や役割を直読直解できない。
自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。		関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることがある程度できる。		関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができない。
関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。		関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることがある程度できる。		関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができない。
学科の到達目標項目との関係					
MCCコア科目					
教育方法等					
概要	到達目標を達成するために、①情報伝達・記録の必要性を理解、関心を深め ②英語表現・英語理解の能力 ③機器各部の名称と役割を関連付け英語表現・理解・知識を高める授業を行う。				
授業の進め方・方法	授業は講義と実技を中心とする。 各回の授業は機器の絵や図面を見ながら、各部の名称や役割を英語表現する。 教科書に出てくる専門用語についてはその都度説明し、英文理解の助けとする。 船内で使われる英文記録の記載要領を説明し、実際に記載してみる。 船内で使われる簡単な指示・報告の方法について教科書を基に練習する。				
注意点	機器の英語表現を高めるために毎回名称や略語に関する小テストを実施し最終成績評価の20％は小テストの評価で示す。 予習・復習は必須であり、指名された際には答えられるような姿勢で授業に臨むこと。 教科書・ノート・辞書の形態は必須であり、忘れた際には減点の対象とする。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバスの説明 船体各部の名称・船の種類の英語表現 中学英文法の再確認	授業を受けるにあたって必要な事項をシラバスを元に説明し理解準備できる。 船体の大まかな名称や積み荷による船舶の名称を理解する。 中学での基礎的な文法を思い出し英語長文の解釈ができる。	
		2週	ディーゼル機関各部の名称と英語表現（クロスヘッドタイプ）	機関各部の名称を英語で表現でき、この機関の動作原理を説明した英文を解釈できる。	
		3週	ディーゼル機関各部の名称と英語表現（トランクピストンタイプ）	機関各部の名称を英語で表現でき、この機関の動作原理を説明した英文を解釈できる。	
		4週	ボイラー、タービン各部の名称と英語表現	機関各部の名称を英語で表現でき、ボイラー・タービンの動作原理を説明した英文を解釈できる。	
		5週	軸系及びプロペラー各部の名称、ポンプ、補器類の名称	軸系、プロペラ-各部の名称を英語で表現できる。 ポンプ、補器類の名称を英語で表現できる。 又、機器の動作原理を説明した英文を解釈できる。	
		6週	機関日誌一般、取扱要領と英語表現	機関日誌を記入する際の約束事を理解し、これに基づいて英語で機関日誌が記入できる。	
		7週	機関日誌の日常作業記入の英文例 出入港作業、停泊作業、航海当直	機関日誌における日常作業の英文を記載要領に従って記入できる。	
		8週	中間試験	1～7回までの講義内容で理解度を確認する。	
	2ndQ	9週	機関日誌 ドック及び検査、諸工事の英文記入例	機関日誌に当日実施した諸作業を英語で表現できる。	
		10週	修繕注文の記入方法と英語表現（1） 入渠関係、軸系、ディーゼルプラント、タービンプラント	修繕注文書が英文で記入できるようにする。	

		11週	修繕注文の記入方法と英語表現（2） 入渠関係、ボイラー、補機器、電気	修繕注文書が英文で記入できるようにする。
		12週	修繕注文の記入方法と英語表現（3） 配管、甲板機械	修繕注文書が英文で記入できるようにする
		13週	船内での命令・指示・連絡の英文例	機関部間、船橋等との命令・指示・連絡が英語で出来る。
		14週	機関部船内連絡用語	機関運転作業で部下との会話がスムーズに行える。
		15週	期末試験	成績確認、既習事項の確認定着を図る。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語量の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前13,前14
専門的能力	分野別の専門工学	商船系分野(機関)	船舶基礎工学	工学系の専門英文を読む力を習得し、内容について概要を把握できる。	4	
				海事業務に必要な英文の書き方を習得し、実際に文章を書くことができる。	4	
				海事業務に必要な基本的な表現について学び、口頭で簡単なやりとりや説明ができる。	4	

評価割合

	定期試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	20	10	0	0	0	0	30
専門的能力	60	10	0	0	0	0	70
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0